

⑤ 子どもアシストセンターについて

子どもからの意見

- ・悩みをどうしても誰にも言えない人がいるので、とても大切だと思う。
- ・電話で相談して一緒に解決の手伝いしてくれるのは、とても安心する。
- ・権利を侵害されている人が知らないとなると全く意味がない。「子どもアシストセンターなどの相談の場が札幌市にはある」ということをもっと多くの人に伝わるように宣伝してほしい。
- ・たとえ困っていることがあっても、やっぱり電話はしにくい。そういうところに電話した事が友だちにバレたら恥ずかしいし、いくら悩んでいたって「電話したところで何が変わるの?」というのが正直な感想。 など・・・

札幌市の考え方

皆さんの中にも、見たことのある人がいると思いますが、札幌市では、子どもアシストセンターを知ってもらうため、市内の小中学生全員に相談カードを配ったり、学校などにポスターを掲示したりしているほか、活動内容などをくわしく紹介した「あしすと通信」をつくり、学校や施設に配っています。

子どもアシストセンターに相談する場合、電話料金のかからない子ども専用のフリーダイヤルがあります。また、Eメールでの相談も受けていますので、電話で相談しづらい場合や電話がつながりにくいときなどに利用することができます。

いただいた意見をもとに、子どもアシストセンターが、皆さんにとって、より身近で安心して相談できる窓口になるよう、計画にもしっかりと盛り込み、これからも、子どもたちの声に耳を傾ける相談窓口を目指して、取り組んでいきます。



ひみつは必ず守るので、困ったときは、一人で悩まずにすぐに相談してね。

<子どもアシストセンターのカード>

ひとりで
なやまないで

あんしんして、
「たすけて」って
いっていいんだよ!

0120-66-3783

フリーダイヤルがつかないときは…011-211-3783へ

月～土 朝10:00～夕方8:00 暮らしづらいときはメールしてね

日曜日・祝日・年末年始は別枠 assist@city.sapporo.jp

子どもアシストセンター

⑥ 権利侵害がおこらないようにすることについて

子どもからの意見

- ・外国籍の人や障がいのある子どもとの交流する機会をつくってほしい。
- ・いじめ、差別や虐待がなくなるよう、なるべく小さいころから学ぶ機会があるとよい。
- ・子どもは、大人を見て育つので大人を変えていけば子どもも変わると思う。

など・・・

札幌市の考え方

子どもの権利の侵害がおこらないようにするためには、大人も子どももみんなが子どもの権利について正しく理解し、権利侵害に対する意識を高めることが大切です。

そこで、札幌市では、学校における民族教育や男女平等教育などのほか、いろいろな機会を通して、お互いの違いを認め尊重し合う意識を身につけることができるよう取り組んでいきます。

これらの取組を具体的に進めていくときには、いただいた意見も参考にしていきたいと考えています。



⑦ 子どもの権利をもっと知ってもらうことについて

子どもからの意見

- ・子どもの権利について、たくさんPRして、より多くの人に知ってもらうのが大切。
- ・アニメやマンガのDVD、これはとってもよいと思う。
- ・市でがんばっていても、家では守られないこともあると思うので、親たちを集めて、子どもの権利のことを学んでもらう必要がある。
- ・子どもに伝える前に、まず大人に伝えるべき。大人にも知る機会を与えた方がよい。

など・・・

札幌市の考え方

子どもの権利が守られるためには、大人にも子どもにも、子どもの権利について知ってもらい、正しく理解してもらうことが大切だと考えています。

「さっぽろ子どもの権利の日(毎年11月20日)」に行うイベントや、パンフレットの配布などのほか、寄せられた意見も参考にしながら、広報活動に、より積極的に取り組んでいきます。